



浦島伝説

「充実の秋」本番

合唱コンクールが終わり、落ち着いた学校生活に戻りました。これからは、勉強の秋、読書の秋、さらにじっくりと自分自身を振り返る秋、未来を見つめる秋にするため、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

職場体験学習

先週、2年生が職場体験学習を行いました。今年は祝日の関係で4日間になってしまいましたが、本校は平成18年度に文部科学省の『キャリア・スタート・ウィーク』事業を受けて以降、5日間の職場体験が続いています。最近、授業時数の確保などから、職場体験学習の日数が減っている学校もありますが、5日間だからこそ感じることもあるはず。 “緊張の1日目、仕事を覚える2日目、仕事に慣れる3日目、仕事を創意工夫する4日目、感動の5日目” と、5日間働くことで、仕事に対するやりがいや楽しさ、厳しさを実感することができるからです。そして、この経験は、将来の進路や生き方を考えるきっかけにもなります。「中学生の仕事は勉強することである」ということにも気づいたでしょう。全力で取り組んだ5日間が、きっと未来を変えてくれるはず。

学習状況調査

今日、1・2年生は、香川県学習状況調査を行いました。この調査は、平成14年度から香川県が独自で行っているテストで、2年前から11月に実施されるようになりました。定期テストと違い、点数や順番はつきません。問題ごとに「正答」「誤答」「無答」を出し、県全体の正答率等と比較することによって、生徒一人一人の「理解できている内容」「理解が不十分な内容」を明確にすることができます。生徒にとっては、学習内容がどれだけ理解できているかを知り、今後の学習に役立てることができるとともに、先生方も、指導の工夫・改善に生かすことができます。なお、3年生は「第4回学習の診断」を行いました。進路を考えるうえでとても重要なテストです。

学校図書館教育

今週木曜日、三観地区中学校教育研究会があり、本校で学校図書館教育研究会が行われます。これは、昨年度から指定を受けて研究してきた内容を他校の先生方に紹介する会で、高木清美先生が全体発表、石川数志先生と潮明子先生が研究授業を行います。

これまで、調べ学習を通して主体的に情報収集しそれらを活用できることや、読書を通して豊かな心情を育てることなどについて研究を進めてきました。また、図書館司書の藤根佳代先生も、生徒が利用しやすい図書室をめざして、夏休みからコツコツと図書室を整備してこられました。ぜひ図書室にも足を運んでください。右の写真は「香川の子どもたちに読んでほしい100冊」のコーナーです。



◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ お知らせ ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■ 「ドラえもん募金」に約100名のみなさんが協力してくれました。さっそく社会福祉協議会に持っていくと、総額19861円になりました。ありがとうございました。

■ 11月17日(日)午後1時からアルファあなぶきホール(香川県民ホール)で、第55回中国・四国ブロック民俗芸能大会が開催されます。この大会は、毎年各県持ち回りで開催されているもので、今年は香川県が当番であるため、地元代表として家浦二頭獅子舞が出演することになりました(右のパンフレット参照)。入場無料です。「文化の秋」もしっかり堪能してください。

香川県 家浦二頭獅子舞保存会

<演目>家浦二頭獅子舞
 神龜年間(720年頃)に家の浦にお祀りしていた八幡様のご神体を、現在の三豊市詫間町にある船越八幡宮へ移した時に、家の浦の獅子がお供を努めたのが始まりと伝えられています。また、弘法大師の縁記によれば聖武帝勅願以来、毎年大祭には清き調べで趣向をこらし御神霊をお慰めしたとも伝えられています。

猛々しく勇壮な舞は武道の流れをくみ、流儀は「古流小笠原葡萄獅子」といわれ、古くは神事にだけ行われてきた格調の高い気品のある舞は、豊作踊り的な獅子舞とは趣を異にしています。鎮魂、事始め、神寄せの太鼓と獅子の四方被いの舞に始まり、笛、太鼓、摺り鉦に合わせて緩やかに、時に激しく、また拍犬の阿像吽像の姿となり、特に雌獅子の背返りも珍しく、見所の一つです。

